



関係者 各位

JP250クラス性能調整に関する規則改訂と 互換性部品の追加について

- ◆ 2022年4月13日にMFJより公示された、「JP250 クラス性能調整に関する規則改訂と互換性部品の追加について」は、5月1日より施行とする。

詳細については、下記アドレスの内容を確認すること。

JP250 クラス性能調整に関する規則改訂と互換性部品の追加について

※<https://www.mfj.or.jp/2022/04/13/23335/>

以上

次ページ以降参考資料



令和4年4月13日

MFJ 公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

JP250 クラス性能調整に関する規則改訂と互換性部品の追加について

国内競技規則書 付則11 JP250 技術仕様の序文の規則アップデートに伴い、JP250クラスの車両の性能調整を下記とおり実施いたします。 規則の施工は、5月1日からとする。

1. エアクリーナーに関する規則

1) 付則11 JP250 技術仕様 7-3-29-1 を追加する。「赤字」部分が規則追加となります。(参考図面①)

※ カワサキ・ZX-25R について、ラムダクトのエアクリーナー側出口の先端を加工(カットのみ可)して、ダクト出口径を公認車両(量産)の直径(内径)32mm⇒直径(内径)45mm に拡大することを許可する。

2) 付則11 JP250 技術規則 7-3-29-1-6 に下記を追加する。(参考図面②)

KTM・RC390について、エアクリーナーボックスと一体成型された吸気ダクトの突出部分をエアクリーナー吸気ダクトの一部と見なして、吸気ダクト径を変更しない範囲でカットすることを許可する。

加工 ZX-25Rラムダクト外出口径変更寸法



KTM RC390 A/C吸気ダクト



2. ワイヤハーネスに関する規則

付則11 JP250 技術仕様 7-3-22 に下記を追加する (参考図面③)

ヤマハ・R-3の2019年式以降モデルに18年式以前モデルに使用されていたACGローターを互換性部品として使用することを許可する。ただし、2018年以前モデルに2019年以降モデルのACGローターを使用することは許可されない。

※ACGローター部品番号

*2018年以前モデル:1WD-H1450-00

*2019年以降モデル:BR5-H1450-00